

# 北九州市道路整備中長期計画 未来への成長に向けて挑戦する 魅力あふれる みちづくり

概要版

<sup>令和7年4月</sup> 北九州市 City of Kitakyushu



# 計画の概要

#### ●計画の目的

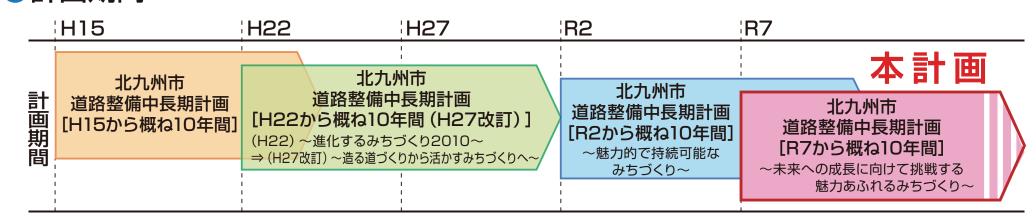
道路は、私たちの日々の暮らしや産業を支える最も身近な社会資本のひとつで、その機能を十分に発揮するためには、計画的かつ効率的な整備や継続的な維持管理を行うとともに、既存の道路空間の有効活用が必要です。

さらに、近年頻発する大規模な自然災害により、避難や支援に必要な道路が寸断される等の被害も発生し、災害に強いみちづくりの重要性が改めて認識されています。

本計画は、これまでの広域道路ネットワークの形成に加えて、防災・減災、国土強靱化に向けた道路整備や整備した道路の良好な景観の保全及び歩行者の利便増進などの新たなニーズを踏まえ、今後の「みちづくりの方向性」を示したうえで、具体的に取り組む「主な施策」や計画期間における「効果指標と目標値」等を示した、本市のみちづくりを着実に進めるための中長期の道路整備計画です。

これからのみちづくりは、北九州市基本構想・基本計画(令和6年3月)における目指す都市像「つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市」と、その都市像を実現するための「3つの重点戦略(「稼げるまち」の実現、「彩りあるまち」の実現、「安らぐまち」の実現)」や、前計画策定以降の社会動向やみちづくりに関するニーズを踏まえて計画を実行していくことが重要であるため、本計画のコンセプトを「未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり」としました。

●計画期間 令和7年度から概ね10年間(概ね5年後を目処に効果検証し、計画の見直しを実施)



# これまでのみちづくりの主な実績(令和元年度~令和5年度)

#### ビジョン1

# 都市の発展と持続を支える みちづくり

都市の発展や物流振興を支えるみちづくり、小倉都心や黒崎副都心等の都市の発展や賑わいを創出するためのみちづくりを行いました。



国道3号黒崎バイパス(八幡東区)



(都)中央町穴生線(八幡西区)

#### ビジョン2

#### 安全・安心で住みよいまちを支える みちづくり

歩行者、車いす、自転車の利用に配慮 した人にやさしい安全・安心なみちづ くりや、橋梁・トンネル・モノレールの 長寿命化対策等、災害に強いみちづく りを行いました。





主要駅周辺のバリアフリー化 (JR安部山公園駅)

#### ビジョン3

#### 魅力あふれるまちを支える みちづくり

美しい道路景観の創出と沿道環境に 配慮したみちづくりや、地域との協働に よるおもてなしとにぎわいのあるみち づくりを行いました。



折尾駅北側駅前広場 (八幡西区)



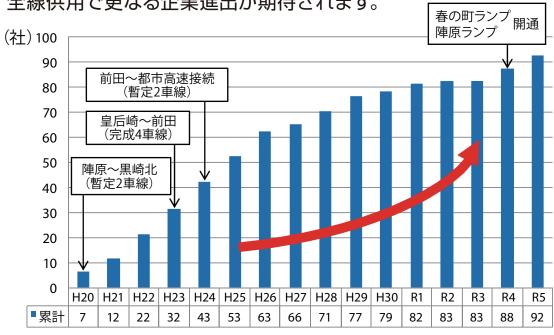
黒崎駅ペデストリアンデッキ (八幡西区)

#### 国道3号黒崎バイパスの主な整備効果

# 〈企業の立地状況〉

平成20年度の暫定供用後、黒崎バイパス沿線で92社の企業が進出しています。

全線供用で更なる企業進出が期待されます。



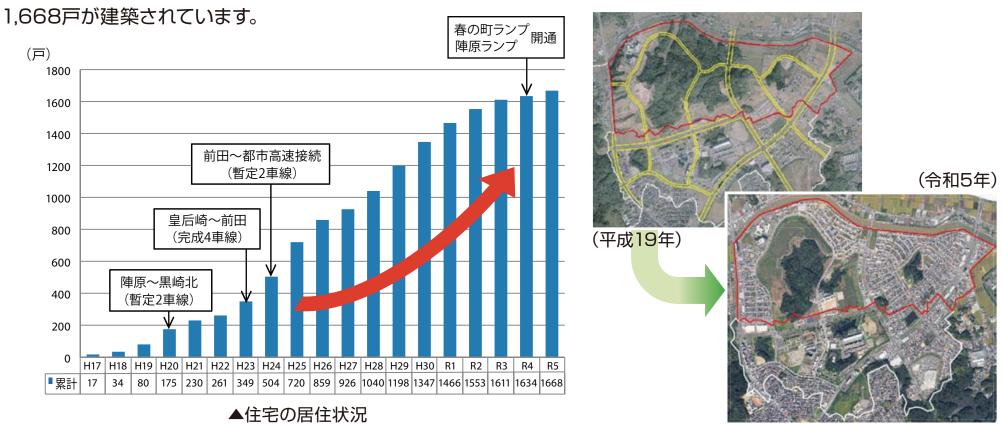
▲企業の立地状況



**▲**THE OUTLETS KITAKYUSHU (令和4年4月 オープン)

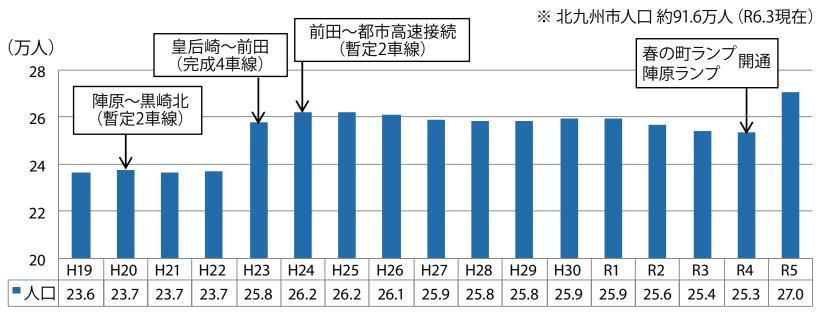
## 〈北九州学術・研究都市北部土地区画整理区域 居住状況〉

平成20年度の暫定供用後、分譲が急速に進み、



# 〈黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口の推移〉

平成20年度の暫定供用後、約3割の市民が黒崎バイパスのランプまでアクセス可能となりました。

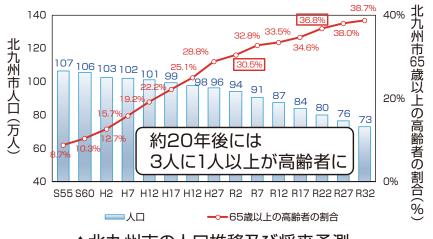


▲黒崎バイパス供用ランプ10分圏域カバー人口

# 本市の道路を取り巻く状況

#### 〈北九州市の現状〉

#### •年々減少する人口・高齢化の進行



▲北九州市の人口推移及び将来予測 出典:国勢調査

#### ・豪雨等の自然災害が頻繁に発生



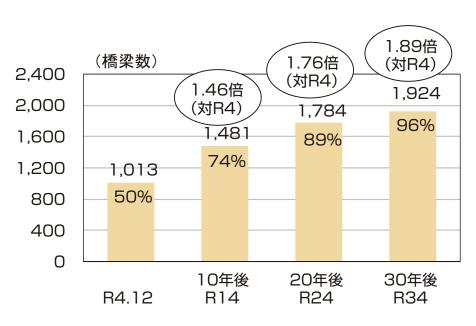
▲平成30年7月豪雨災害 (北九州都市高速道路)



▲令和5年7月豪雨災害 (元城町京良城1号線他1線)

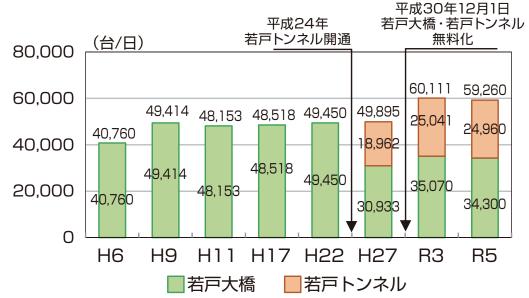
#### 〈北九州市の道路の現状〉

#### •老朽化が進む橋梁・トンネル等の道路施設



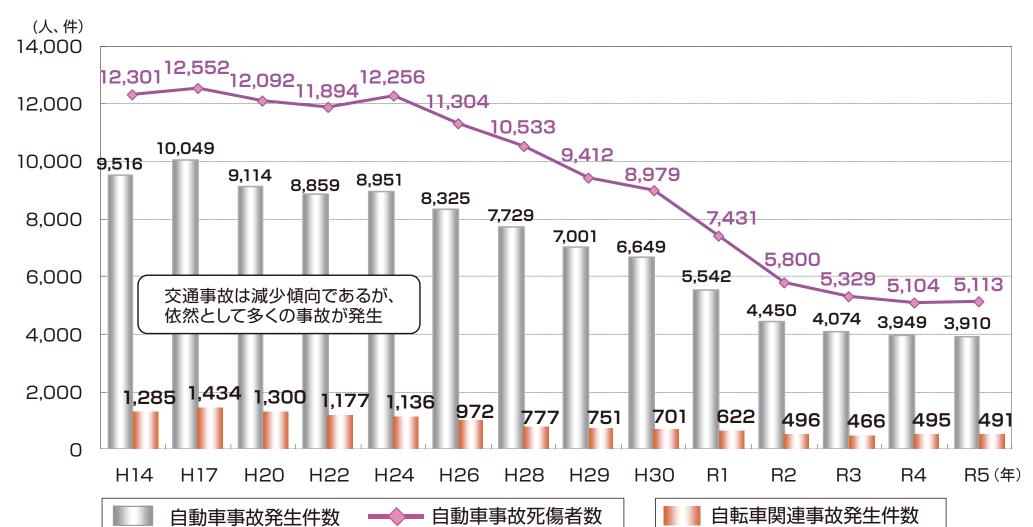
▲建設後50年を経過する橋梁数の推移

#### •若戸大橋、若戸トンネルの交通量増加



▲若戸大橋・若戸トンネルの交通量の推移 出典: H6~R3 全国道路・街路交通情勢調査 R5 交通量調査

#### •年間約4,000件の自動車事故、年間約500件の自転車事故



▲ 交通事故発生件数と死傷者数の推移 出典:北九州市統計データ

# みちづくりに関するニーズ

今後の施策に反映するため、みちづくりに関する様々なニーズの調査を行いました。

### ●市民アンケート調査(令和6年10月)

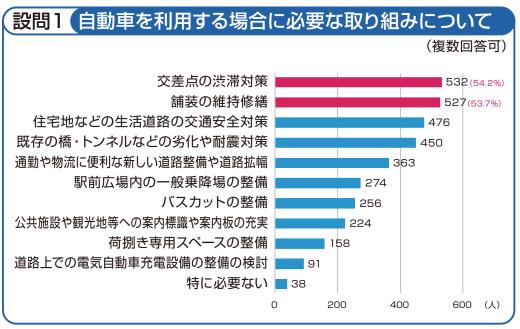
本計画の策定に際し、多くの市民の方々のご意見を計画に反映するため、市民アンケートを実施しました。

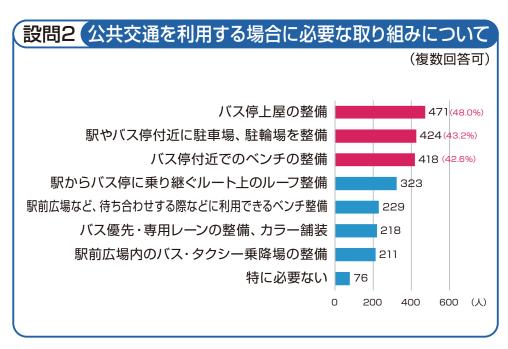
#### 〈アンケート調査概要〉

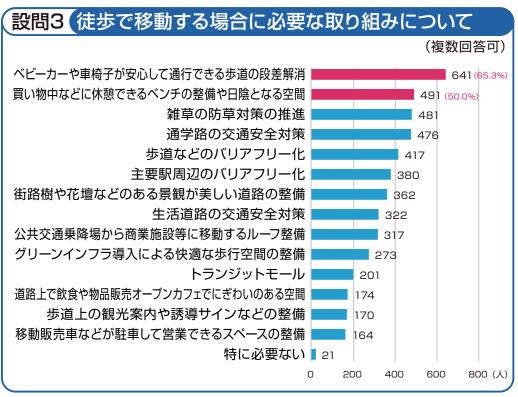
実施期間:令和6年10月15日~10月31日

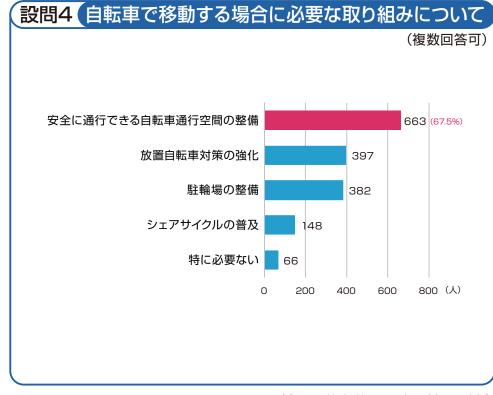
対象者:18歳以上の北九州市民から無作為抽出した3,000人

実施方法:郵送、インターネット回答回収状況:982件(回答率:32.7%)





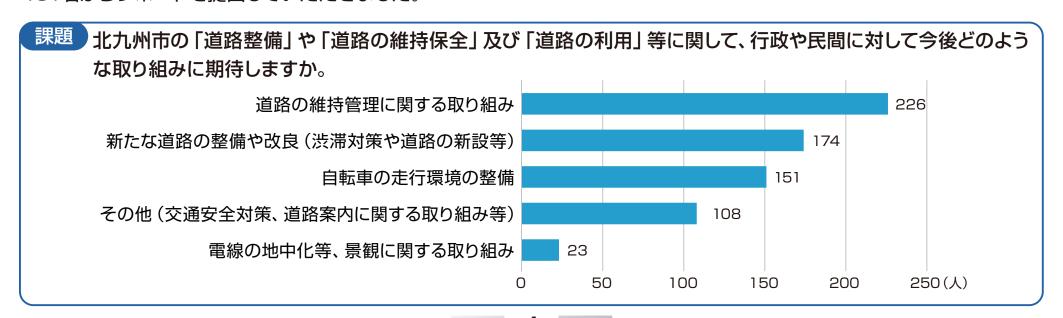




※()…回答者数982人に対する割合

#### ●道路政策に関するZ世代のレポート(令和6年6月)

市道路計画課による講義「北九州市の道路政策について」で出題した課題に対する北九州市立大学2~4年生の学生 401名からレポートを提出していただきました。



## ●市民意識調査

本市では、市民の意識と市民の行政施策に対する評価・要望等を把握するための市民意識調査と、本市のまちづくりに関する企業の満足度調査を毎年実施しています。

(平成21年、平成24年、平成28年、令和4年の結果を抜粋)

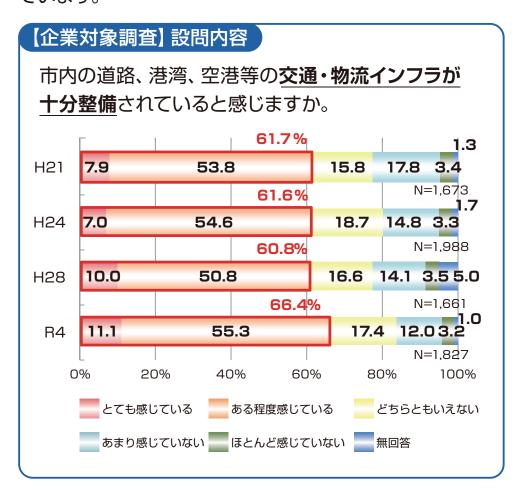
#### 【市民対象調査結果】

「市内の車での移動が便利である」と回答された割合は、 約6割となっています。一方で「車での移動が便利ではないと感じている理由」としては、道路の渋滞が多いことが 挙げられており、交通渋滞対策が求められています。

#### 【市民対象調査】設問内容 市内の**車での移動は便利である**と感じますか。 **54.9**% 3.4 H21 9.3 45.6 18.6 18.5 4.7 (N=1,618)62.3% 3.1 13.8 2.4 H24 10.6 51.7 18.3 (N=1,488) **3.5** 60.8% H28 10.0 50.8 14.1 5.0 (N=1|322) **3.0** 58.9% R4 47.6 11.3 21.0 11.3 5.8 (N=1,288)0% 20% 40% 60% 80% 100% とても感じている ある程度感じている どちらともいえない あまり感じていない ほとんど感じていない 無回答

#### 【企業対象調査結果】

「交通・物流インフラが十分整備されている」と回答された割合は、6割以上で増加傾向にあります。一方で「インフラが十分整備されていない理由」としては、幹線道路や都市高速道路、空港へのアクセスの整備が不十分であることが挙げられており、幹線道路等の整備促進が求められています。



#### ●北九州市の道路整備を考える懇談会

本計画の策定にあたっては、学識者、事業者や道路利用者等、様々な分野の方々で構成する「北九州市の道路整備を考える懇談会」を実施し、幅広くご意見をお伺いしました。

# ●検討経緯

	開催日	開催日	
第1回	令和6年8月6日	<ul><li>・北九州市の道路整備を考える懇談会について</li><li>・北九州市道路整備中長期計画(素案)について</li></ul>	
第2回	令和6年11月21日	<ul><li>・第1回懇談会での意見とその対応について</li><li>・市民意見募集(パブリックコメント) 結果について</li><li>・北九州市道路整備中長期計画(素案) について</li></ul>	



▲懇談会の実施状況

# ●道路利用者の意見(令和4年度~5年度)

製造業、物流業等の企業や福祉団体からみちづくりに関するニーズを把握するために、道路利用者へヒアリングを実施し、幅広いご意見をお伺いしました。

# ●市民意見募集 (パブリックコメント)

本計画の素案に関する「市民意見募集(パブリックコメント)」を実施し、28件のご意見をいただき、本計画へ反映しました。

- •周 知 方 法:市内18箇所での資料配布・閲覧、市ホームページ、市政だより、市公式SNS
- •意見募集期間: 令和6年10月23日(水)~11月13日(水)

# みちづくりに関連する計画

前計画の策定以降、みちづくりに関する全国的な動きとともに、本市の上位計画についても新規策定・見直しが行われています。本計画は、これらの社会情勢等の変化や、道路利用者のニーズを踏まえて策定しており、本市の道路関連計画と連携を図るとともに本市のみちづくりに関する計画等へ反映することとしています。

#### 全国的な動き

- ●2040年道路政策ビジョン (R2.6) [当面の取組案]人中心の道路、新たなモビリティ、 グリーン社会の実現等
- ●福岡県新広域道路交通ビジョン

·福岡県新広域道路交通計画 (R3.6)

[広域道路ネットワークの基本方針]

平常時・災害時を問わない物流・人流の確保

- ●第5次社会資本整備重点計画(R3.5閣議決定)
- ●国土強靱化基本計画(R5.7閣議決定) [新たに打ち出す5本柱] デジタル等新技術の活用による 国土強靱化施策の高度化、地域における防災力の一層 の強化(地域力の発揮)等
- ●グリーンインフラ推進戦略2023 (R5.9改訂)
- ●こどもまんなか実行計画2024 (R6.5) [施策] 通学路等の安全性の確保、公共施設や公共交 通機関等のバリアフリー化、道路の無電柱化・安全で 快適な自転車等通行空間の創出

# 上位計画

●北九州市基本構想·基本計画 (R6.3)

[北九州市が目指す都市像]

つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現する

グローバル挑戦都市・北九州市

[目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略]

稼げるまちの実現、彩りあるまちの実現、安らぐまちの実現につなげ、 まちも人も潤う「成長と幸福の好循環」を作り出し、 都市の総合力を高めていく

- ●北九州市政変革推進プラン(R6.3)
  - [見直しの視点] DX推進、公民連携、効率性・生産性
- ●「バックアップ首都構想」実現に向けた戦略 (R5.11) [「構えづくり」の戦略] メガリージョン、ウォーカブルなまちづくり等 ~以下、旧北九州市基本構想・基本計画に基づく計画~
- ●北九州市公共施設マネジメント基本計画(社会インフラ版)(R4.3改訂)
- ●第2期北九州市国土強靱化地域計画(R2.2)
- ●北九州市物流拠点構想 (R4.3)

[施策]物流インフラの長寿命化・強靱化(公共) インフラの充実・強化(公共)

現計画に記述していない 新たな視点 (キーワード) 人中心の道路

こどもまんなか

ウォーカブル

効率性・牛産性

グリーンインフラ

稼ぐ

メガリージョン

#### 北九州市基本構想 •基本計画

■3つの重点戦略

#### 「稼げるまち」の実現

- ・陸海空のネットワークの構築
- ・物流拠点構想の推進

# 「彩りあるまち」の実現

- ・ウォーカブルなまちづくり推進
- ・賑わいのある空間を創出
- ・公共交通の利便性と持続向上
- ・観光資源の磨き上げ

#### 「安らぐまち」の実現

- ・災害に強いまちづくりの推進
- ・社会インフラの長寿命化
- ・維持管理の高度化、効率化

# 北九州市道路整備中長期計画(今回策定)

■コンセプト

#### 未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり

■みちづくりの方向性

#### ビジョン1

企業が稼げる強靱な まちを支えるみちづくり

- ・企業活動や物流振興を支え、 稼げるまちを形成する道路ネットワークの整備
- ・安定的な物流確保に向けた道路施設の強靱化

#### ビジョン2

人を惹きつけ、 若者が集う、彩りある 魅力的なみちづくり

- ・ウォーカブルで快適な歩行空間の創出
- ・市の魅力や価値を高める道路整備
- ・市民力を生かした美しいまちづくり

#### ビジョン3

安らぎのある暮らしを 支えるみちづくり

- ・通学路安全対策の更なる強化
- ・安全で快適な歩行空間の整備
- ・維持管理の効率化及び高度化

連携

#### 本市の道路関連計画

- ●北九州市景観づくりマスタープラン (H31.4改訂)
- ●北九州市地球温暖化対策実行計画
  - ・環境モデル都市行動計画(R3.8改訂)
- ●北九州市環境首都総合交通戦略(R4.3改訂)
- ●北九州空港大作戦 (R6.2)

#### 反映

#### 本市のみちづくりに関する計画等

- ●北九州市道路照明LED化基本計画 (H23.5)
- ●北九州市自転車活用推進計画 (R3.1)
- ●北九州市橋梁長寿命化修繕計画(R4.12改訂)
- ●北九州市トンネル長寿命化修繕計画(R4.12改訂)
- ●北九州モノレール長寿命化計画 (R6.5改訂)
- ●舗装個別施設計画(R5.4改訂)

#### ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり

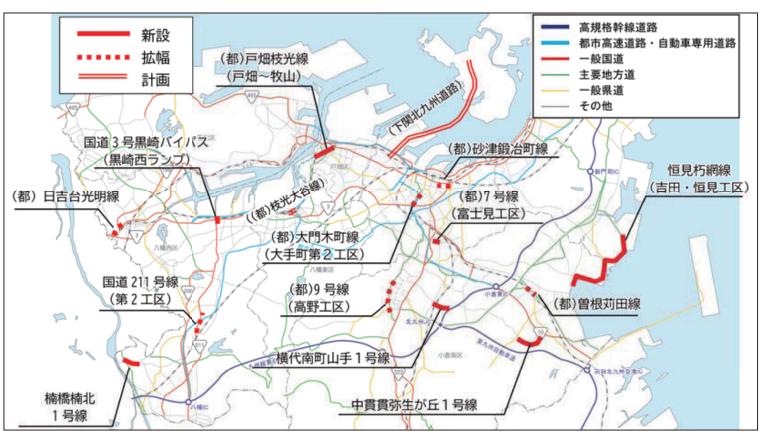
#### みちづくりの方向性

①企業活動や物流振興を支え、稼げるまちを形成する道路ネットワークの整備

#### 稼げるまちを支える広域道路ネットワークの構築

本市は、本州と九州の結節点に位置し、本州および九州の各方面に伸びる高速道路網が発達しており、北九州港 や24時間運用可能な北九州空港等、陸・海・空の交通・物流インフラが充実しています。陸・海・空のネットワーク の構築や近隣自治体との連携などの「稼げる基盤」を強めていくための道路整備を進めます。

また、北部九州エリア全体でメガリージョンを形成し、アジアを見据えた産業や人材の集積、観光誘客など北九州 都市圏域の交流や連携を支える道路整備を推進します。



▲今後の道路整備箇所図

#### 主な整備箇所

国道3号黒崎バイパス (黒崎西ランプ)

(都)戸畑枝光線 (戸畑~牧山)

恒見朽網線

(吉田・恒見工区)

(都) 9号線 (高野工区) 国道211号(第2工区)

(都)日吉台光明線

など

# |施策1-2 交差点における渋滞対策

市内28箇所に主要渋滞箇所があり、これまで警察と協働して対策に取り組んでおり、引き続き、渋滞箇所の改善に向 けた対策を進めます。また、主要渋滞箇所以外においても、右折車線の設置等、渋滞緩和・事故抑制対策を進めます。



▲北九州市内の主要渋滞箇所

※主要渋滞箇所から解除

#### みちづくりの方向性

#### ②安定的な物流確保に向けた道路施設の強靱化

#### ■施策1-3 若戸大橋・若戸トンネルの強靱化

若戸大橋の安全性や信頼性を確保するため、定期的な点検を行うとともに、橋の塗り替え等の大規模修繕に取り組みます。

また、若戸大橋と若戸トンネルの重要性や必要性について情報発信(PR活動)するとともに維持管理費用の財源確保について検討を行います。





▲若戸大橋

▲若戸トンネル (戸畑側通行口)

#### ■施策1-4 橋梁、トンネル、モノレール等の強靱化

老朽化や大規模地震などに備えて安全性を確保するため、劣化や耐震対策に取り組みます。





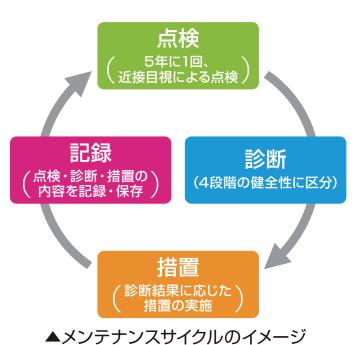
▲橋梁の長寿命化対策

# ○維持管理の基本方針

予防保全型の維持管理をするために、予防保全段階(健全性Ⅱ)以上であることを管理水準とし、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを構築し、継続していきます。

健全性区分		状態	
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。	管理理
П	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全 の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	水準以上
ш	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態。	管理水
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる 可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	準以下

▲管理水準



# ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり

#### みちづくりの方向性

①ウォーカブルで快適な歩行空間の創出

#### ■施策2-1 魅力的なみちづくり

#### ●ほこみち(歩行者利便増進道路)路線指定の促進

歩行者利便増進道路及び利便増進誘導区域に指定した道路では、商店街組合や民間団体等が一定の条件下で歩行者の利便増進や地域の活性化等のためにベンチやテーブル、食事・購買施設、露店等の物件を占用することができます。

#### ●都市ストックの有効活用

#### 〈公共空間の利用促進〉

道路、公園、河川等の公共空間を民間団体が活用しやすくするための占用ルールや窓口を幅広く周知します。

#### 〈おもてなしベンチの整備〉

歩行者やバス利用者等が道路上で休憩や待ち合わせができるように清掃の協力が得られる場所においてベンチを設置します。

#### 〈移動販売スペースの確保〉

高台の住宅地等、歩いて商業施設に行くことが困難な地域において、条件 を満たす自治会や事業者等を対象に、既存の道路空間を活用して移動販売 車両の駐車スペースを確保します。

#### ●道路空間の再編成

人口減少、シェアリング等の普及や MaaSの推進に伴い、自動車総量の減少が 見込まれる中、道路空間の再編成の第一歩 として車道の一部空間を転用し、パーク レットなどまちなかのウォーカブルな空間 を創出します。



▲道路空間の再編成 (イメージ) [パークレット(大阪市の事例)]



▲ほこみちの活用 (イメージ)

実施

小倉都心部、地域拠点、 商店街 など



▲おもてなしベンチ (イメージ)



▲移動販売スペースの確保 (イメージ)

#### ●観光案内の充実

観光地周辺の道路において、観光地までのアクセス性を向上させるため、誘導サイン等を設置して、観光案内の 充実を図ります。

# ■施策2-2 景観に配慮したみちづくり

長崎街道等の沿線の風景や自然、歴史、文化などの観光資源を磨き上げて、官民が協働して、訪れる人をもてなし、喜びや感動をもたらす風景街道の知名度を向上させる活動や情報発信を行います。

# ●これまでの取り組み

◇風景街道 DAYs in 小倉 及び木屋瀬の開催



▲風景街道 DAYs in 小倉 (実施状況)

◇ゆっくり歩き帖(製作・配布)





#### ◇北九州風景街道フォト&

#### アートコンテストの開催

・北九州風景街道(木屋瀬から門司港)の ルート沿線にある、風景・自然・歴史・文 化等の地域資源をより多くの方に知って いただくため、フォト&アートコンテスト

を開催しています。





#### ■施策2-3 こどもまんなかみちづくり

こどもや子連れの方が通りやすく安心して歩けるように歩道の段差解消、交通結節点での乗り継ぎや公共交通乗降場から商業施設等までのルートで雨に濡れないルーフの整備等を進めます。

みちづくりの方向性



▲歩道の段差解消 (イメージ) 出典:鳥取県福祉のまちづくり施設整備マニュアル

# タクシー乗降場バス停

▲ル一フ整備(戸畑駅前広場)

# ■施策2-4 自転車を快適に利用できる環境づくり●自転車通行空間ネットワークの形成

自転車だけではなく、歩行者や自動車も安全で快適に道路を通行できるように、自転車通行空間の整備を推進し、整備拠点内及び拠点間を結ぶ自転車通行空間ネットワークの形成を図ります。

②市の魅力や価値を高める道路整備

# ●利用しやすい駐輪環境の形成

〈二一ズや利用特性に応じた駐輪施設整備の推進〉 〈市営有料自転車駐車場の利便性向上(24時間利用、キャッシュレス決済等)〉

# ●放置自転車対策の推進

自転車放置禁止区域の指定や放置自転車の撤去のほか、駐輪ルールに 関する広報・啓発などの取り組みの充実を図ります。



▲個別ロック式駐輪場

# ●シェアサイクル事業の推進

公共交通の機能補完やまちの回遊性向上に寄与し、 通勤・通学、買い物、観光、ビジネスと多様な用途への 活用が可能な交通サービスであるシェアサイクル事業 を、官民が連携して推進します。

#### ●サイクルツーリズムの推進

「福岡県サイクルツーリズム推進協議会」と連携し、 広域モデルルートの整備やサイクリストの受入環境の 整備、観光地を自転車で巡るおすすめのサイクリング ルート等の情報発信に取り組みます。

#### ■施策2-5 多様な交通モードに配慮したみちづくり

令和4年3月に改訂した「北九州市環境首都総合交通戦略」と連携して、公共交通の利用促進や利便性向上を図るため、交通結節拠点の機能強化を図る道路整備を行います。

# ●駅前広場の整備

折尾地区では、学園都市の玄関口にふさわしい地域拠点として再整備するため、「折尾地区総合整備事業」を進めています。その取り組みの一つとして、JR折尾駅周辺の鉄道高架化と合わせて駅前広場を整備することにより、交通結節機能を強化し、バスやタクシーなどの公共交通をはじめとする交通機関のアクセス性や乗り継ぎの利便性を向上します。

# ●交通結節機能の強化

バスや鉄道などの交通結節 点において、バス停、タクシー や自家用車の乗降場や案内板 等の整備により、定時性の確 保や利便性向上を図ることで、 交通結節機能を強化します。



▲ベンチ整備(折尾駅北側)



▲折尾駅南側駅前広場の整備 (イメージ図)

実施箇所 折尾駅南側 など

# ■施策2-6 防草対策の推進

道路の見通しの確保など、道路環境を常に良好な状態に保つため、市政変革に向けた取り組みの1つとして除草 主体の対策から防草対策への転換を図ります。









▲中央分離帯の防草対策(コンクリート舗装)

▲植樹帯の桝化

#### ■施策2-7 環境に配慮したみちづくり

#### ●道路照明のLED化

道路照明のLED化を図りながら、低炭素社会づくりの取り組みを市内に広げていくとともに、安全・安心な暮らしを支えながら節電を図ります。

# ●道路上でのEV充電設備の二一ズ把握・設置検討

電気自動車 (EV) の普及に伴い、基礎充電と目的地充電の普及や目的地までの走行距離が長い場合も想定し、経路充電の充電機器の設置も進めていく必要があるため、道路上でのEV充電設備のニーズを把握したうえで設置に関する検討を行います。



道路照明のLED化 (みかげ通り(小倉北区))



# ●グリーンインフラ導入による 快適な歩行空間の整備

自然環境の持つ多様な機能を活用したグリーンインフラの導入を進めます。まちなかの歩行空間において、保水性舗装と雨水貯留機能のある砕石路盤を併用することで、路面温度の低下を図ります。

実施箇所 小倉都心部 など



▲グリーンインフラの具体的な取り組み事例 (保水性舗装等による路面温度低下の仕組み) 出典: 横浜市

# みちづくりの方向性 ③市民力を生かした美しいまちづくり

# ■施策2-8 市民との協働による美しいまちづくり

# ●北九州市道路サポーターの加入促進

道路清掃や花植え等を行う団体を対象に、清掃用具の追加や長期活動団体の表彰等、活動を永く続けられるための制度の充実を図ります。また、更なる活動の拡大を目指して「道路サポーターだより」や「ホームページ」等を活用し、情報発信に取り組み、新規団体の加入促進を図ります。



直路サポーター加入の促進▶





▲道路サポーターの活動状況

# ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり

#### みちづくりの方向性

①通学路安全対策の更なる強化

#### ■施策3-1 通学路の安全対策の強化

#### ●通学路交通安全プログラムに沿った取り組み

平成27年11月に策定した「北九州市通学路交通安全プログラム」に基づき、警察、学校・PTA、自治会等の関係者が連携して市内の全小中学校区の通学路の安全点検を行い、その結果を踏まえて、適宜、交通安全対策に取り組みます。

#### ●ビッグデータを活用した通学路整備の促進

通学路の安全対策の更なる強化のため、小学校周辺のエリアを 選定し、国土交通省が提供するETC2.0を搭載した車両の速度や 通行ルート等のビッグデータを活用して交通安全対策を行います。



▲通学路合同点検の様子

#### みちづくりの方向性

②安全で快適な歩行空間の整備

#### ■施策3-2 生活道路の交通安全対策

これまでの事故発生箇所に対する対症療法型対策ではなく、ビッグデータを活用して、速度超過箇所や急ブレーキ 箇所等の潜在的な危険箇所を事前に特定し、効果的・効率的な安全対策(速度抑制や通過交通進入抑制対策等)に 取り組みます。

### ●ゾーン30プラスの推進

最高速度30km/h区域規制「ゾーン30」とハンプ等物理的デバイスの適切な組合せにより、交通安全の向上を図る区域を「ゾーン30プラス」として設定し、道路管理者と警察が連携しながら整備を進めていきます。

#### 今後の整備予定エリア

小倉北区(中井地区) など

物理的デバイスの例▶ 出典:国土交通省資料

#### 速度抑制対策



路面をなめらかに盛り上げ、30km/h 以上の速度で走行する車両の運転者 に不快感を与える構造物です。



スムース 検断 歩 迫 車両の運転者に減速と横断歩行者 優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道 を組み合わせた構造物です。

# ■施策3-3 誰もが安心して利用できるみちづくり

# ●主要駅周辺のバリアフリー化

主要鉄道・モノレール駅周辺で、駅と福祉施設を結ぶ道路等、多くの高齢者や障害者等の利用が見込まれる特定道路等において、歩道の段差解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置等に取り組みます。

# ●歩道等のバリアフリー化

歩道が未整備の通学路や生活道路等において、歩行者が安全で安心して移動できる歩行空間の整備を進めます。





▲歩道のバリアフリー化 (一枝21号線)

#### ■施策3-4 事故危険箇所の事故防止対策

死傷事故が多発している箇所を国土交通省と警察庁が「事故危険箇所」として指定しています。

指定された箇所のうち、幹線道路で交通事故が多い箇所や事故の危険性が高い箇所に対して、警察と道路管理者が連携して、路面標示、区画線、減速マーク等の事故防止につながる整備を進めます。

計画	策定年月	国管理	市管理	計
第1次	H15.7	31	16	47
第2次	H21.5	4	17	21
第3次	H25.7	13	20	33
第4次	H29.1	7	17	24
第5次	R4.3	9	18	27
計		64	88	152

▲事故危険箇所の指定状況

#### ■施策3-5 道路の無電柱化の促進

#### ●道路の無電柱化

都市防災機能の強化、歩行空間の確保、都市景 観の向上を図るため、幹線道路等において道路を 無電柱化し、安全で快適なみちづくりを進めます。

#### 主な整備箇所

- (都)日吉台光明線
- (都) 折尾中間線
- (都) 折尾青葉台線
- (都)折尾駅南口線
- (都) 大門木町線 など



▲(都)大門木町線

#### みちづくりの方向性

#### ③維持管理の効率化及び高度化

#### ■施策3-6 物流ネットワークの走行性の確保

●物流道路における舗装の維持修繕

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、路面性状の診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコストの縮減を目指します。

## ■施策3-7 日常生活を支える道路の維持管理

●舗装補修、側溝浚渫、のり面災害防除等

交通量の増加や車両の大型化、長年の老朽化により、ひび割れ、わだち、凹凸ができた舗装を、傷みの程度に応じて全面的や部分的に補修をしています。

舗装の補修にあたっては、舗装の維持補修計画に基づき、計画的に実施しています。その他、道路側溝や桝の補修、清掃、道路の陥没事故防止のための定期的な路面下の空洞調査を実施していきます。

# ■施策3-8 ICT等を活用した新たな道路の維持管理

- ●ドローンによる道路施設の点検
- ●AIによる健全度診断
- ●市民通報サービスの提供/KitaQ市民レポート (道路等損傷箇所市民通報システム)

道路・公園・河川の損傷箇所の状況や位置情報、写真などを、スマートフォンなどを用いてオンライン上で簡単に通報できるようになりました。

【通報例】舗装の穴ぼこ、ガードレールの損傷、

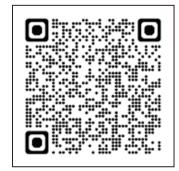
遊具の破損、街路樹の枯死 など



出典:国土交通省







▲KitaQ市民レポートホームページ

# 効果指標と目標値

今後のみちづくりの効果指標及び5年後の目標値を下表のとおり設定しました。

効果 指標			<b>実績</b> (R5年度末)	目標値 (R11年度末)		
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり						
1	施策 1-1	都市計画道路の整備率 (総延長: 607,360m)	83.5% (507,112m)	<b>85.9%</b> (521,442m)		
2	施策 1-2	主要渋滞箇所における渋滞対策の実施済み箇所数 (対象:市管理18箇所)	6箇所	8箇所		
3	施策 1-4	橋梁・モノレール長寿命化対策工事の着手率 (対象:R1~R5定期点検で健全性Ⅲに分類された構造物)	橋梁 48% モノレール 11%	橋梁 100% モノレール 100%		
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり						
4	施策 2-4	自転車通行空間の整備延長	44.7km	80km		
5	施策 2-7	市内における道路照明のLED化率 (全灯数: 17,743灯)	90% (15,896灯)	,		
6	施策 2-8	北九州市道路サポーターの加入団体数	259団体	275団体		
ピ	ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり					
7	施策 3-1	通学路の合同点検の実施率 (※点検3巡目となる令和7年から5年間を目処に全ての小中学校区を対象に実施)	_	100%		
8	施策 3-1 施策 3-2	ビッグデータを活用した交通安全対策の着手地区数	9地区	14地区		
9	施策 3-3	主要駅周辺の特定道路等のバリアフリー化率(総延長: 43,930 m)	95% (41,840m)	<b>100%</b> (43,930m)		
10	施策 3-4	事故危険箇所における事故防止対策の実施済箇所数 (対象:市管理88箇所(第5次指定箇所まで))	85箇所	88箇所		

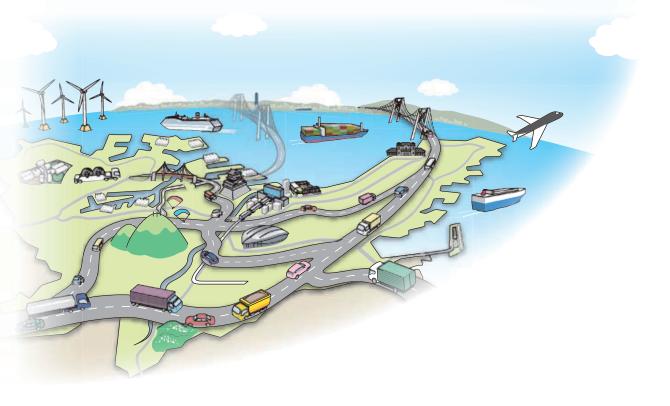
# 施策の進捗管理

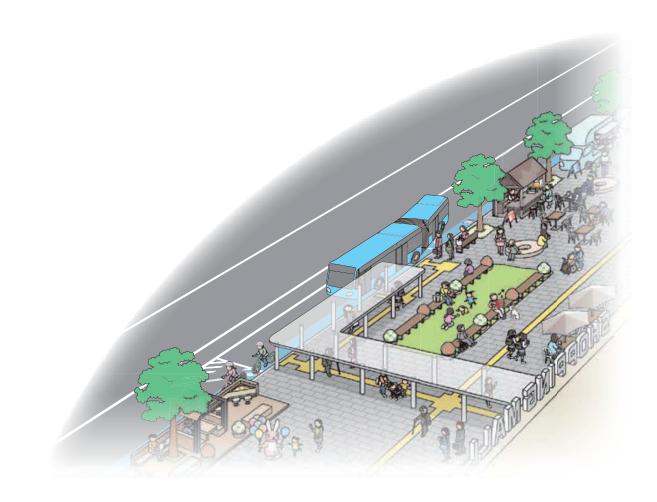
「道路整備中長期計画」の施策展開にあたっては、PDCAサイクル(「計画の作成」→「施策の展開(実施)」→「施策の評価(検証)」→計画策定から概ね5年後に「計画の見直し(改善)」)を継続的に繰り返すことによって、実効性のある施策を実施していきます。



長期的な 構想・計画への 対応 本計画は、概ね10年以内に取り組んでいく施策を対象としています。一方で、道路の整備は、 構想から計画、事業着手まで10年を越える期間を要するものも多くあります。

このため、現在構想段階のものや、今後の経済・社会情勢の変化に伴い新たに必要となる道路については、その計画が明確になった時点で、本計画に反映させていきます。





北九州市都市整備局道路部道路計画課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 TEL 093-582-3888

電子メール: seibi-dourokeikaku@city.kitakyushu.lg.jp ホームページ: https://www.city.kitakyushu.lg.jp/

北九州市道路整備中長期













